

オルフオイス II

君の手は長くのびてみたが
空しさをつかむばかりであつた
愛するものは
君の目を見つめながら

すでに遠く悲しげなそぶりであつた
身もだへながら 愛するものの
美しい目は
君の目を見つづけてゐた

道は暗かつた
石がころがつてゐた
せまくてまがつてゐた

立ちつくす君の前に
もう何事もおこらなかつた
オルフオイスよ 帰る場所もない